

臨境都市・福岡の国際交通の拡充に関する研究

Research on Enhancing International Passenger Transport of Fukuoka, The Border City of Japan

I. 現在の課題

1. 現状

九州の拠点空港

7 (全国 28) 空港が集中

九州の国際港湾

3

新幹線と鉄道

所要時間	利便性が高い
九州新幹線沿線	日豊本線沿線
新鳥栖駅 0:13	大分駅 2:04
久留米駅 0:15	
熊本駅 0:33	山陽新幹線沿線
鹿児島中央駅 1:19	小倉駅 0:15
宮崎駅 3:08	広島駅 1:02
	岡山駅 1:38
	新大阪駅 2:25
長崎本線沿線	東海道新幹線沿線
佐賀駅 0:38	京都駅 2:51
長崎駅 2:01	名古屋駅 3:29
佐世保駅 1:55	東京駅 5:13

港・空港への交通



2. 課題

海運

課題点

水中翼船(ジェットfoil)は速いが、**夜間航行できない**(日没時刻の影響大)



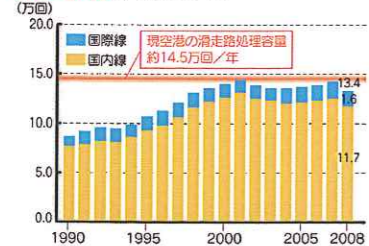
航空

課題点

アジアにしか就航していない



滑走路が頭打ち



アクセス

課題点

空港は近いが国際線は遠回り



博多港へのバス路線が複雑



II. 国際交通の拡充

3. 博多港

フェリーの増便

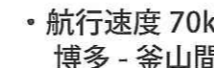
日1便→2~3便に増便

種類	博多港発	釜山港着
水中翼船	6:30	9:25
水中翼船	7:00	9:55
フェリー	8:00	13:30
水中翼船	9:00	11:55
水中翼船	10:00	12:55
水中翼船	12:00	14:55
水中翼船	14:00	16:55
水中翼船	15:00	17:55
フェリー	16:00	21:30
水中翼船	17:00	19:55
フェリー	23:55	5:25 +1

双胴船の導入 (夏スケジュール、2艘導入時)

種類	博多港発	釜山港着
水中翼船	7:00	9:55
水中翼船	9:00	11:55
双胴船	9:30	12:55
水中翼船	10:00	12:55
水中翼船	12:00	14:55
フェリー	12:30	18:00
水中翼船	13:30	16:25
水中翼船	14:30	17:25
水中翼船	17:00	19:55
双胴船	17:30	20:55
双胴船	1:30 +1	4:55 +1

・夜間航行が可能な高速船
・国内でも青函海峡で実績あり



・航行速度 70km/h
博多 - 釜山間 3:25

4. 福岡空港の路線拡充

	福岡(日本)	バルセロナ(スペイン)	東京(日本)
中心都市人口	148万人	162万人	1313万人
国際線路線数	19路線	111路線	91路線
国際線便数	206便/週	1716便/週	1838便/週
最長就航路線の就航距離	4381マイル	6914マイル	6978マイル

同じ程度の規模なのに**大きな差**

消えた旅客



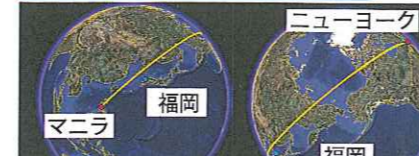
福岡・九州等の利用者が成田空港などの利用者としてカウントされてしまう
福岡・九州等の利用者の利用者を把握する方法は？(福岡空港国際線拡充の**潜在需要**)

E/Dカード(~2001)のデータで分析

福岡空港から	住所	渡航先国名
40万人/年	東京・大阪・名古屋	海外へ!

(福岡空港の国際線利用者は73万人)

長距離路線を福岡経由に



福岡近辺を通る**長距離路線**の給油地を福岡にすることで北米・ヨーロッパ・オセアニア方面の路線を獲得

5. 国際拠点へのアクセス改善

港湾 - 都心バスを環状化



新幹線の直通



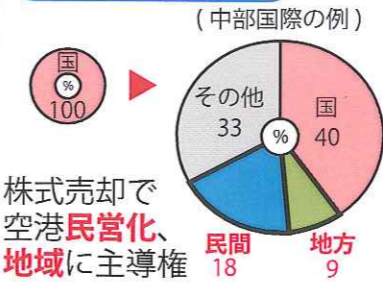
鉄道の導入



III. 国際交通拡充に向けて

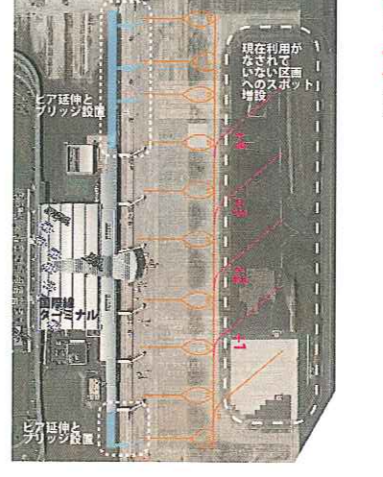
6. 提言

空港民営化



株式売却で空港民営化、地域に主導権

スポット増設



小型機での路線長距離化



福岡の隠れた観光資源
冬が暖かい 温泉に近い 食がおいしい
普段気づかないこと 海外で感じる不便
▶ 福岡の魅力では?

東京と総合特区の連携

